

クローバー あおもり

clover Aomori

Vol. 51
2026.August



特集

「男は仕事、女は家庭」はもう古い？
高校生の声からみる
ジェンダー意識の変化

中特集

AIと上手に付き合うために
～誰一人取り残されないデジタル社会を目指して～

One's Life 齊藤望さん

LOCATION: 平川市碓ヶ関駅内 RUUP/

PHOTO by 斎藤美佳子

高校生8,800人に聞いてみた「あなたはどう思う？」

Yes or No

※本誌では、令和7年度高校生の固定的性別役割分担意識に関する調査報告書内において「そう思う」「どちらかというと思う」をYesとし、「そう思わない」「どちらかというと思わない」をNoとして集計した。

家事・育児は
女性がすべきだ

Yes 11.0% No 88.9%



組織のリーダーは
男性のほうが向いている

Yes 22.2% No 76.7%



本調査では「女性（男性）は〇〇すべきだ」などの性別による役割分担についての質問25項目のうち、NO「そう思わない」が22項目であった。

この調査ではNo「そう思わない」という回答が多くみられたよ。高校生自身は、性別による「〇〇すべき」という考えがそれほど強くないことがわかるね。



中には男女別に集計をしてみると、男女で考えに差がでる回答もあったよ。



男は仕事をして
家計を支えるべきだ

男子

Yes 64.5% No 35.4%



女子

Yes 40.8% No 59.2%



デートや食事のお金は
男性が負担すべきだ

男子

Yes 34.4% No 65.5%



女子

Yes 10.7% No 89.1%



「男は仕事、女は家庭」はもう古い？ 高校生の声からみるジェンダー意識の変化

令和7年度、青森県男女共同参画センターでは、県内の高校2年生8,800人を対象に、固定的性別役割分担についての大規模調査を実施しました。今回の特集では、その調査結果から見えてきた現役高校生の意識や、若者にかけられる周囲の声についてご紹介します。

n=3,472



固定的性別役割分担意識とは

「男は仕事・女は家庭」のように、個人の能力とは関係なく 性別を理由として役割を分ける考え方のこと

男たるもの稼いで家族を養うべきだし、女性を守るヒーローじゃなきゃいけないよね？小さなころから周りにそう言われてきたよ。



本当にそうかな？時代の変化もあるかもしれないけど、今回の調査では男子の半数近くが「男性は女性を守るものだ」と思っているのに対して、女子は男性がその役割を担うべきとは思っていないことがわかったよ。

女性のか弱い存在なので、守らなければならない

男子 **Yes 49.0%** **No 50.9%**



女子 **Yes 25.5%** **No 74.3%**



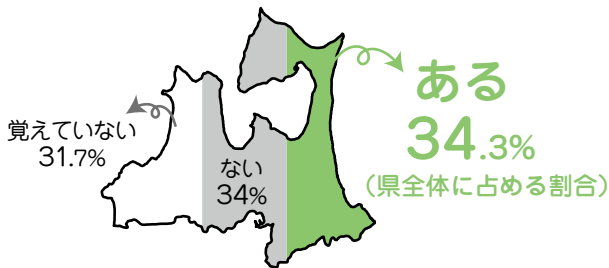
そうなんだ。「守らなきゃ」「リードしなきゃ」と自分に言い聞かせていたけど、僕も少し肩の力を抜いてもいいのかもしれないなあ。



高校生8,800人に聞いてみた「あなたの経験」

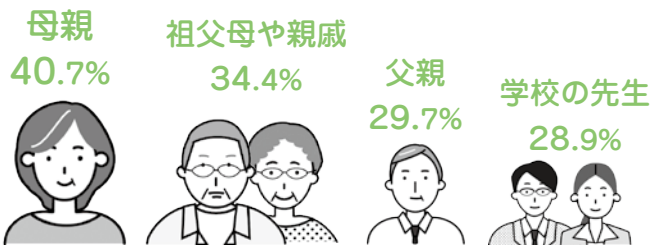
Q1

誰かに「男性なんだから」または「女性なんだから」と言われた経験



Q2

誰に言われた？



Q3

役割の決めつけや偏見の情報発信を感じたことがあるもの（上位4項目）

インターネット・SNS

53.4%



テレビ・ラジオなどのメディア

35.5%



学校の活動

14.4%



家庭生活

11.2%



Q4

実際にどんなことを言われた？

「男性だから・女性だから」という性別による決めつけについて
高校生自身の経験を聞きました。

男は
強くあれ。

男が
スキンケアなんて
女々しい。

跡継ぎ

男のくせに
泣くな。

うれし泣きをした時も言われた。
男だって涙腺はあるのに。

女なんだから
掃除しなさい、
料理をしなさい、
できないとモテないよ。

性別関係なくやるべきことじゃないの？

女らしい
態度と言動を
心がけなさい。

大声で笑ったりするのは
変だと言われた。

力仕事は
男がやるもの。

女子でも持てるもののなのに
手伝いに呼ばれるのはいつも男子。

女に
大学進学は
必要ない。

女で
背が大きいと
可愛くない。

女の子なんだから
長い髪を
大切にしなさい。

女子力が
ない。

女で理系だと
リケジョ
「理系女」

性別による決めつけについて
実際に寄せられたコメント

170件超

■男女で態度が違う先生がいるのはどうかと思う (男子)
■女子のデート代は男子がおごるものというのは納得ができない (男子)

■性別で決めるのはあまり良くないと思う。でも性別によって向き不向きなものもあるから難しい (男子)
■祖父から、女性家事ができないければ結婚しても破局されると言われ、非常に腹が立った (女子)

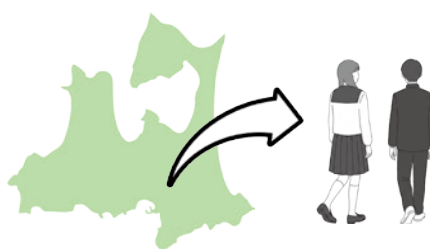
■協力次第で両立できるはずなのに、親戚の集まりで女性ばかりが働き、男性はお酒をゆっくり飲んでいることに違和感があった (女子)
■男性だから女性だからというのは自分にとっては嫌。体格差など違いがあるのはわかるが、平等に接してほしいなと思う (女子)

青森県の人口流出の
一因にもなっているかも

■青森は好きだが、将来の自分のキャリアを考えたときに、女性
は家庭優先という風潮によって

選択肢が狭まるのではないかと不安になることがある (女子)
高校卒業後の進路で、県外を選ぶ生徒の12人に1人が、県外を選ぶ理由として「精神的に楽だから」と回答しており、地元で生活することへの息苦しさを感じている様子がうかがえました。

高校卒業後の進路



県外希望
52.6%

今回の調査では、若者にとって性別による役割の決めつけは、人生の道しるべとはならず、むしろ生きにくさや将来の「壁」となりうるものであることが見えてきました。
誰もが自分の価値観を大切に、尊厳をもって生きられる社会になるために、まずは「女らしく」「男らしく」という言葉について、一度立ち止まって考えてみませんか。

(担当：船水明李)

黒石市ミニデータ

- 人口 29,557人
(男13,823人、女15,734人)
- 世帯数 14,059世帯
(令和8年6月末現在)
- おすすめ特産品、スポット
りんごジュース、金平成園(かねひらなりえん)

【概況】

三方に津軽平野、東に八甲田連峰が連なり、青森県のほぼ中央に位置する。
令和6年に市制施行70周年を迎えた。豊かな自然と豊富な温泉に恵まれた古くからの城下町。



青森県の 市町村 情報

黒石市発★キラリ

各市町村で活躍するグループ・団体・企業等を紹介します。

今回は『男女共同参画をすすめる黒石ハーモニーの会』を

11年ぶりにご紹介。会長の石澤恵美子さんにお話を伺いました。

黒石市をよりよくするために 活動を続けて20余年

平成15年に行われた「男性の家庭・地域参画事業」男らしさから自分らしさへの実行委員のメンバーにより、平成16年に設立された「男女共同参画をすすめる黒石ハーモニーの会」。現在は50〜70代の21名が会員として在籍しています。

会報誌の制作、年に一度の清掃活動、イベントでの啓発活動、黒石市と連携した講座の開催など多岐にわたる活動をして、設立当初から現在に至るまで20数年続いている同会。特に近年は、黒石市で行っている市民向けの公開講座「未来塾」女(め)・男(お)・輝かせてと共催で、年に一度実施しているフォーラムが、大きな活動のひとつとなっています。

「設立のきっかけとなった事業を一度きりで終わらせたいという思いから、この会は始まりました。名前の通り、男女共同参画について黒石市民に広く知っていただくということが会の活動目的です」と、会長の石澤さん。「活動目的は今も当初から変わっていませんが、取り巻く環境は変化しています。男女共同参画への意識は当初より高まっ



▲「男女共同参画をすすめる黒石ハーモニーの会」会長 石澤恵美子さん

ているという話も、ここ数年メンバー間でよく出るようになりました。時代の流れとともに着実に進展しているのを感じ、一方で、例えば男性が育休を取ることに、会社の中で取りにくい状況ではないけれど、祖父母世代などの家族から必要ないと言われるなど、まだまだ意識が変わっていない部分が残っているというように話も多く聞きます。そのような簡単には変わらない部分にどのように働きかけていくか、そしてもう一つ、会の活動をつないでいくことも昨今の課題として、日々活動に取り組んでいます。

今年度は、男女共同参画ネットワーク・津軽広域及び市町村担当者会議の事務局も市とともに担うことになっており、さらなる活躍が期待されます。

変革の時代を歩み感じる これからの未来に必要なこと

石澤さんは、これまでに印象に残った取り組みに、社会人と学生の交流会があると話します。「やっぱり若い方たちに地元に残っていただきたい。男女共同参画とは直接的には結びつかないかもしれないですが、まちづくりや気づきという部分に関してはつながってきますし、大切なことだと思ふんです」と話します。

「先日、黒石アートBOXが誕生しました。廃校を利用した、子どもから高齢者まで幅広い世代が、学びや創作を通じて交流できる文化活動拠点です。若い世代の方々に知っていただける活動がこれからは必要だと思っているので、このような場を利用して、交流の機会を大切にしていきたいですね」と、これからの展望を話してくださいました。

男女共同参画 担当者からの 一言コメント

黒石市企画財政部企画課



黒石市では、すべての人がその個性と能力を十分に発揮し、誰にとっても住みよい社会を形成することを目指してきました。今年3月には、「すべての人がそれぞれの希望する場所で活躍できるまち」の実現へ向け、「第4次くるいし男女共同参画推進プラン」を策定。「すべての人があらゆる分野で活躍できる社会づくり」「すべての人が安心して暮らせるまちづくり」「すべての人が共に参画できる社会の実現」の3つを基本目標に掲げました。具体的な取組としては、年に数回未来塾「女(め)・男(お)・輝かせて」を実施して市民のみならず、男女共同参画について学んでいただいたり、男女共同参画情報誌「みらい通信」を年に2回発行して多くの人へ周知を図るという事業を行っています。

「黒石ハーモニーの会」のメンバーのみならずには、このような当市の男女共同参画事業にもご協力をいただいております。今年度は当市が男女共同参画ネットワーク・津軽広域及び市町村担当者会議の事務局を担当することになっており、そこでも主体となって動いてくださっています。会のメンバーのみなさまの持つ幅広い知見をお借りしながら、津軽地域における男女共同参画を推進していきたいと思っています。

(取材：井藤 雪香)

AI と上手に 付き合うために

～誰一人取り残されないデジタル社会を目指して～

文章を作成する。

調べものをする。

旅行の計画を立てる。

AI（人工知能）は、私たちの暮らしや仕事のさまざまな場面で活用されるようになりました。

便利な一方で、誤った情報をもっともらしく示してしまうことや、使い方によっては考える機会が減ってしまうことも指摘されています。

AIは暮らしを豊かにする可能性を持つ便利なツールです。

しかし、大切なのは「AIを使うこと」ではなく、「AIとどう付き合うか」です。

今回は、青森県庁DX推進課への取材をもとに、AIとの上手な付き合い方について考えます。



AIって何？

AI（人工知能）は、大量のデータをもとに学習し、文章の作成や翻訳、要約、画像の生成などを実行する技術です。

ChatGPTやGemini、Claudeなどの生成AIのほか、スマートフォン顔認証や翻訳機能、ネット通販の商品提案など、私たちの暮らしのさまざまな場面で活用されています。生成AIは、質問や指示に応じて短時間で文章やアイデアを提案でき

AIチャットツールでの会話の様子（イメージ図）
電波状況が良好であれば、数秒で回答が返ってくる。

青森県について教えて（100文字以内で）

本州最北端に位置する青森県。りんごやねぶた祭で知られ、世界自然遺産・白神山地や縄文遺跡など、豊かな自然と文化が息づく地域です。四季折々の美しい風景や新鮮な海の幸も魅力です。

👍👎🗨️🔄🔍...



ることが特徴です。

例えば、「青森県について教えて（100文字以内で）」と質問すると、数秒で次のような回答が得られます。

“本州最北端に位置する青森県。

りんごやねぶた祭で知られ、世界自然遺産・白神山地や縄文遺跡など、豊かな自然と文化が息づく地域です。四季折々の美しい風景や新鮮な海の幸も魅力です。”

このように短時間で回答が得られることは、生成AIの大きな特徴です。

一方で、生成AIは誤った情報をもっともらしく示してしまう場合もあります。そのため、回答をそのまま受け入れるのではなく、自分で内容を確認し、必要に応じて信頼できる情報源で確かめることが大切です。生成AIは多くの情報を整理し、内容を分かりやすくまとめることを得意としています。人の思いや、その場の状況、言葉の背景まで理解できるわけではありません。それぞれの得意分野を理解しながら活用することが重要です。

青森県ではAIを どのように活用 している？

AIは、行政サービスや地域課題の解決など、さまざまな分野で活用が進んでいます。

青森県庁DX推進課 暮らし・行政DXグループの福士聡子主幹、吉田ありす主査にお話を伺いました。

青森県では、2024年度から「青森県はDXでもっとおもしろくなる」を基本理念とした「青森県DX推進プラン」を推進しています。

福士主幹は、「デジタル技術は目的ではなく、より良い暮らしを実現するための手段です」と話します。

人口減少や人手不足など地域が抱える課題に向き合いながらデジタル技術を活用し、暮らしや働き方をより良くしていくことを目指しています。

県庁では、生成AIを議事録作成や文章の要約、企画書の作成などに活用し、業務の効率化を進めています。

す。一方で、個人情報や機密情報を入力しないなど、安全に利用するためのルールも整備されています。

また、県庁ホームページでも、質問に自動で回答する生成AIチャットボットを運用するほか、りんご栽培の省力化・標準化や観光分野など、地域課題の解決にもAIの活用を進めています。

さらに、こうしたAI活用の土台となるデータ基盤の整備も進めています。今年12月の運用開始に向けて、国・県・市町村の道路除排雪データを連携させ、対象の地域に住まいの皆さんが除排雪情報をインターネット上で簡単に見られる仕組みの構築を段階的に進めています。将来的にはデータをAIの学習に活用し、除雪の出勤判断の自動化や除排雪車両の需要予測などの実装に取り組む予定です。

同時に、これらAIをはじめとするデジタル技術の恩恵を誰もが受けられるよう、情報格差（デジタルデバイス）の解消も欠かせません。県では、障がいのある方のデジタル利活用を支援する「ICTサポーター育成講座」を実施するなど、「誰一

人取り残されないデジタル社会」に向けた支援にも取り組んでいます。

取材では、

「AIはあくまで道具。最後に判断するのは人です。」

という言葉がありました。

AIをはじめとするデジタル技術は目的ではなく、人の暮らしをより良くするための手段であること。そして、最後に考え、判断するのは人であること。この言葉には、AIを活用する上で大切な考え方が込められています。

AIは 「考えるパートナー」

AIは、暮らしや仕事を支える便利なツールです。

青森県では、AIを活用したマッチングシステム「AI（あい）であう」を運用しています。AIは行政サービスだけでなく、結婚支援など私たちの暮らしに身近な分野でも活用されています。

AIが身近になるほど、便利さに

頼るだけでなく、自分で考え、判断することの大切さも忘れてはなりません。

また、一人ひとり置かれている状況やデジタル技術との関わり方は異なります。だからこそ、便利な技術を上手に活用しながら、多様な価値観を尊重し、人との対話やつながりを大切にしていくことが求められます。

AIとの付き合い方に決まった正解はありません。

AIを「答えを出してくれる存在」としてではなく、「考えるパートナー」として活用すること。必要に応じて情報を確かめ、自分自身で考える姿勢を大切にすることが、AIと上手に付き合うための第一歩ではないでしょうか。

本特集が、一人ひとりに合ったAIとの向き合い方を考えるきっかけとなれば幸いです。



（担当…橋本麗奈）

人の数だけ、生き方がある。

自分らしい選択をしながら地域で輝く皆さんを紹介します。

One's Life

(より豊かに生きるためのヒントをお伝えします)

かつての関所から、 子どもたちの未来をひらく



株式会社
GOOD LOOP
代表取締役
さいとう のぞみ
齊藤 望さん

【Profile】1971年、平川市碓ヶ関（旧碓ヶ関村）出身。1993年に平川市役所へ入庁。2023年に約30年勤めた市役所を退職し、青森市の民間企業を経て、2024年に株式会社GOOD LOOP（グッドループ）を設立。2026年1月、JR碓ヶ関駅の待合室を改装したカフェ・ブックストア・バー「RUUP/（ルウブ）」をオープン。自治体DX支援やNPO活動など、複数の顔を持つパレールワーカーとしても活躍中。

県境の小さな駅から

青森と秋田の県境、山あいひっそりとたたずむ平川市碓ヶ関。江戸時代には津軽藩の関所が置かれ、人と物が行き交った歴史を持つ一方、現在は人口約1,900人、小・中学校は各学年十数人という小さな地域です。そのJR碓ヶ関駅に、2026年1月、待合室をリノベーションした木のぬくもりあふれるお店「RUUP」が生まれました。

「GOOD LOOP」という会社のコンセプトが『みんなのしあわせをぐるぐるまわす』なんです。そのためには、みんなのしあわせを集めないといけないと考えました。まずは人が集える場所を作ろうと。人が集まったら「何か飲みたいね」とか「食べたいね」、そんな声が聞こえてくるんじゃないか。だったら書店もやっちゃおう。全国的に書店が減少して学びの入口が少なくなっているから本と出会える場所もほしい」

そう語るのには、店主の齊藤望さん。コーヒーやお酒を飲みに来る大人、地元の小中高生、おもちゃで遊びに来る家族連れ、秋田県からの来訪者……。かつての関所のように多彩な人々が

行き交うこの場所は、オープンからわずか数ヶ月で「JR東日本地域共創アワード」で優秀賞を受賞するなど、県内外から注目を集めています。

店内で書棚として使用している木箱ベンチは2日がかりのDIY（Do It Together）というワークショップで県内外からの参加者と一緒に製作し、その書棚は月額3,000円（税込）でレンタルしていて、誰でも「ボックスオーナー」になれるシェア型書店には移住者や県外からの出品が並びます。

「敵は己」——自分との約束を守るだけ

市役所では子育て健康課長やワクチン接種対策室長を務め、最前線の激務を経験。「50歳で早期退職しよう」と決めていましたが、ちょうどコロナ禍と重なって退職できず、52歳で退職しました」

次々とアイデアを形にしていって原動力を尋ねると、答えは明快でした。

「『いつか』とか『そのうち』という言葉が大嫌いなんです。やろうと思ったことを、ただやっている。シンプルに、自分との約束を守っているだけ。自分との約束は破ってもペナルティがない。だから敵は己なんです」

子どもたちの「初めて」がある場所に

「子どもたち」が一つのキーワードなんですと齊藤さん。毎月第4金曜の朝6時半、店では廃棄予定のパンを譲り受けて通学途中の中高生に朝食として提供しています。フードロス削減と子どもたちの健康づくり、2つの課題に同時に取り組む「GOOD LOOP」です。週末の夕方には子どもたちが自然にドアを開けて入ってきて、地域のイベントでは中学生が演奏を披露し、高校生は初めてのアルバイトに挑戦する……。初めてコーヒーを飲むとか、初めて

のデートとか。子どもたちの『初めて』の場所にしたいんです」

自動販売機より少し高くても、店でドリンクを注文する中学生には、対価について問いかけます。「彼らはここで過ごす時間に対してお金を払っているんですよね」。どうすれば商品に付加価値をつけて売れるかを考えさせる企画も構想中で、「ゆくゆくは教育をやっていききたい」と力を込めます。その根っこには、子育て健康課長時代に向き合った地域の課題があります。「孤立させない。人に頼るとか、弱いところを見せられる地域の関わりが大事なんです」

山の向こうの選択肢を見せたい

この春には、愛媛県のFC今治高校の生徒を住み込みのインターンとして受け入れ、地元の小中学生との交流の場をつくりました。「この辺の子どもたちは、中学を卒業するとだいたい弘前市の高校へ、という選択肢になってしまいうそうじゃないんだ、こういう高校生もいるんだという選択肢を見せたかった」

一方で、子どもたちを地元縛るつもりはありません。「出ていく人は出て行って、戻ってくる人は戻ってくればいい。その人の人生だから。ただ、こういう店があって楽しかったな、自分もやってみたいなと思ってもらえたら嬉しいし、『碓ヶ関出身です』と胸を張って言える故郷にしたい」

かつて関所として人々を見送り、迎えてきたこの土地で、齊藤さんは今日も子どもたちの行き先を照らしています。「できないことはやらない、碓ヶ関でも自分の得意な分野で楽しく誇りを持って生きていけるんだ、ということを見せるのが大事ですよ」。その言葉は、山の小さな駅から、まっすぐ未来へ向かっていました。

（取材…斎藤美佳子）



令和8年度 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰において

かこ た えつ こ
籠田 悦子さんが受賞されました

【男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰とは】

国では、豊かで活力のある男女共同参画社会の形成に資することを目的に、多年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった方、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた方などを顕彰しています。

【受賞者のご紹介】

かこ た えつ こ
籠田 悦子 (八戸市農業委員会会長)

要職を男性が占めることが多い農業分野において、青森県で女性初の農業委員会会長となり、現在に至るまで12年間、女性農業委員の活躍の場を切り開いてきました。

現在でも女性の農業委員会会長は全国に数十人程度にとどまっており、その活躍は後に続く女性たちに勇気を与えています。



6月25日 内閣総理大臣表彰の様子
籠田氏は上段右から2番目

高校生向けパンフレット 「みんなが自分らしく!!考えてみよう男女共同参画2026」 を作成しました

ジェンダー平等や国内外のジェンダーギャップの現状に加え、女性の政治参画、無意識の偏見、男性の育児参画、デートDV・性暴力、性の多様性に関する基礎知識と相談窓口情報も盛り込みました。高校生の皆さんが自身の将来や社会との関わりについて深く考えるきっかけになれば幸いです。

パンフレットはこちら→



男性の育児等体験交流講座

パパが魔法使いに大変身！

親子で学ぶ科学マジック講座

パパがリーダー、こどもが助手として親子で協力しながらマジックの種を考え、習得しませんか？親子の連携プレイでうちの人をびっくりさせられます。クリスマスパーティーの出し物にもぴったり。マジック道具のお土産つき！

講師 Mr.マサックさん（工藤 貴正氏）

日時 令和8年12月19日（土）
10：00～11：00

会場 アピオあおもり 保健指導室

対象 県内に住む親子
（お子さまの年齢：年中～小学校低学年程度）

定員 10組

参加費 1家族300円 マジック道具のお土産あり

申込締切 12月1日（火）



あおもりウィメンズアカデミー 働く女性リーダーコース



企業等で働く女性を対象に、リーダーとしての心構えや必要なスキルを学ぶ連続講座「あおもりウィメンズアカデミー働く女性リーダーコース」を9月1日（火）より開講します。今年度も公開講座と交流会を集合型で開催し、他講座は9月1日（火）から12月25日（金）までオンデマンド配信で行います。

公開講座 「DE & I時代の女性リーダーシップ入門」
～自分らしく影響力を発揮する第一歩～

講師 佐野 愛子さん（株式会社Woomax代表取締役）

日時 令和8年9月1日（火）13：45～14：45

会場 アピオあおもり大研修室1

男女共同参画フェスティバル2026

アピオあおもり 秋まつり

誰もが自分らしく生きられる「男女共同参画社会」について、県内の活動団体の方々とともに、学び、考え、語り合う場として、アピオあおもり秋まつりを開催いたします。皆さんお誘い合わせのうえ、遊びにいらしてください。

日時 令和8年11月14日（土）9：30～15：30

会場 アピオあおもり

◆イベントホールプログラム
※詳細は裏表紙をご覧ください。

◆館内プログラム
ワークショップ、体験、活動紹介、飲食物・物品販売、フリーマーケット、パネル展示など



※アピオあおもり駐車場には限りがございますので、公共交通機関をご利用いただくことをお勧めします。

あおもりウィメンズアカデミー 地域女性リーダーコース

地域の女性を対象に、地域における様々な課題を男女共同参画の視点を踏まえて解決するための「地域女性リーダーコース」第1回目を7月13日（月）に板柳町多目的ホールあぶるで開催しました。



公開講座では、『「もったいない」から未来をつくる』をテーマに、一般社団法人もったいない研究所代表理事 岡詩子さんを講師に迎え、TSURUTA RABOでの取組をはじめ、地域資源を生かしたまちづくりについてご講演いただきました。

本コースは、11月まで月1回全5回の日程で実施します。

DV相談・支援者向け講座

「離婚後の共同親権とDV ～支援者が押さえるべき最新法制度～」

令和8年度 DV相談・支援者向け講座を、8月28日（金）アピオあおもり保健指導室にて開催しました。

パープルリボンキャンペーン

女性に対する暴力をなくす運動期間（11/12～11/25）中に、アスパムやアピオあおもりをパープルに点灯し、啓発活動を実施します。

みんなのための **無料** 専門相談

法律相談

法律に関する問題について、弁護士がアドバイスします。※先着 3 名

【相談時間】 13:00～15:00 (30分 3名)

実施月	実施日	【締切日】	相談会場
9月	8日(火)	【9/ 3(木)】	青森会場
	29日(火)	【9/24(木)】	弘前会場
10月	13日(火)	【10/ 8(木)】	青森会場
	27日(火)	【10/22(木)】	青森会場
11月	10日(火)	【11/ 5(木)】	青森会場
	27日(金)	【11/21(土)】	八戸会場
12月	8日(火)	【12/ 3(木)】	青森会場
	22日(火)	【12/17(木)】	青森会場
1月	15日(金)	【1/ 9(土)】	弘前会場
	26日(火)	【1/21(木)】	青森会場
2月	9日(火)	【2/ 4(木)】	青森会場
	23日(火・祝)	【2/18(木)】	青森会場
3月	12日(金)	【3/ 6(土)】	八戸会場
	23日(火)	【3/18(木)】	青森会場

電話かFAXで要事前予約。FAXの場合は折り返しご連絡いたしますので連絡先のご記入をお願いします。

☎ **017-732-1022**

📠 **017-732-1073**

こころの相談

人間関係、心配事、ストレスについて、公認心理師がお話を伺います。※先着 2 名

【相談時間】 13:00～15:00 (50分 2名)

【会場】 アピオあおもり

実施日	締切日
9月17日(木)	9月15日(火)
10月15日(木)	10月13日(火)
11月19日(木)	11月17日(火)
12月17日(木)	12月15日(火)
1月21日(木)	1月19日(火)
2月18日(木)	2月16日(火)
3月18日(木)	3月16日(火)

各種相談のご案内

男性専用相談

センター相談員による電話相談、面接相談（予約制）を行います。

【相談受付時間】 毎月第1 金曜日
午後2時～4時

【場所】 アピオあおもり
(青森市中央3丁目17-1)

電話相談は匿名でもお受けできます。

面接相談についてはお電話でご予約ください。

性的マイノリティ専用相談

センター相談員による電話相談、面接相談（予約制）を行います。

【相談受付時間】 毎月第2 金曜日
午後2時～4時

【場所】 アピオあおもり
(青森市中央3丁目17-1)

電話相談は匿名でもお受けできます。

面接相談についてはお電話でご予約ください。

パソコン・スマートフォンで
青森県男女共同参画センターをもっと身近に！

青森県男女共同参画センター

検索



ホームページアドレス

<http://www.apio.pref.aomori.jp/gender/>

～SNSもチェック！～

フェイスブック：青森県男女共同参画センター

X：@apiodanjo

YouTube：アピオあおもり男女

Instagram：@apio.danjokyououdousankaku

▶お問合せ先

青森県男女共同参画センター

〒030-0822 青森市中央3丁目17-1

電話 017-732-1085 FAX 017-732-1073

メール danjokouza@apio.pref.aomori.jp

諸事情により、やむを得ずプログラム内容の変更または開催を中止する場合があります。

最新情報は、青森県男女共同参画センターホームページでお知らせします。

読者
プレゼント

3名様

黒石市の特産品『シャイニーアップルジュース（6本セット）』を抽選で3名の方にプレゼントいたします！



青森県りんごジュース株式会社の
ねぶたシリーズ6本セット

【応募方法】

ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、今回の「クローバーあおもり」の感想、興味を持った記事ページを記入の上、下記宛先にお送りください。

なお、応募者が多い場合には抽選とさせていただきます。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。ご記入いただいた個人情報は、目的外に使用することはありません。

応募締切 令和8年
10月31日(土)
(当日消印有効)



応募用二次元コード
こちらからもご応募
いただけます。

〒030-0822

青森市中央3丁目17-1

青森県男女共同参画センター

クローバーあおもり読者プレゼント係 まで

11月14日(土)

開催！

男女共同参画
フェスティバル2026

アピオあおもり秋まつり

<事前申込必要>・手話通訳あり・託児あり・参加無料

【イベントホールプログラム】13:15~14:30

●オープニング落語

●講演

『女らしくなく、男らしくなく、自分らしく』

講師 つゆ ざくらく
露の五九洛 さん

落語家・天台宗僧侶。高校卒業後、上方落語家の師匠に入門し、修業を経てプロの落語家となる。2011年に天台宗で出家し、現在は兵庫県尼崎市の寺院「道心寺」の住職を務めながら、年間250回を超える高座や講演活動を全国で行う。落語や仏教の視点を生かし、男女共同参画、人権、多様性、自分らしい生き方などをテーマに分かりやすく伝えている。主な著書『プロの尼さん』『女らしくなく、男らしくなく、自分らしく生きる』など



秋まつりの詳しい情報は、青森県男女共同参画センターのホームページでお知らせします。随時更新していきますので、検索してみてください。

青森県男女共同参画センター 検索

■編集・発行

青森県男女共同参画センター

青森県男女共同参画センター（アピオあおもり）は、性別や年齢にかかわらず、すべての人々が個人として尊重され、共に支え合う男女共同参画社会の実現をめざして、県民のさまざまな活動を支援するための拠点です。

〒030-0822

青森市中央3丁目17-1 アピオあおもり

TEL 017-732-1085 FAX 017-732-1073

ホームページ <http://www.apio.pref.aomori.jp/gender>

facebook、X、Instagram、YouTubeのいいね、フォロー、チャンネル登録をお願いいたします。

facebook 【青森県男女共同参画センター】で検索

X @apiodanjo

Instagram @apio.danjokyoudousankaku

YouTube アピオあおもり男女

●青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センターは、指定管理者「未来へつなぐネットあおもりグループ」が受託・運営しています。

■編集後記

◆青森の短く濃い夏を、今年もめいっぱい楽しみたいです。

【斎藤 美佳子】

◆AIはとても便利な存在ですが、最後に考え、判断するのは人。今回の取材を通して、その大切さを改めて感じました。

【橋本 麗奈】

■交通アクセス

青森市営バス利用

●中央循環線「アピオあおもり前」下車

●青森駅前4番乗場より下記行きで15分

「働く女性の家前」下車、徒歩3分

（市民病院線、横内環状線、問屋町行き、浜田循環線、青森公立大行き）

●国道4号線「市役所前」下車、徒歩8分

※公共交通機関をご利用の上、ご来館ください。

